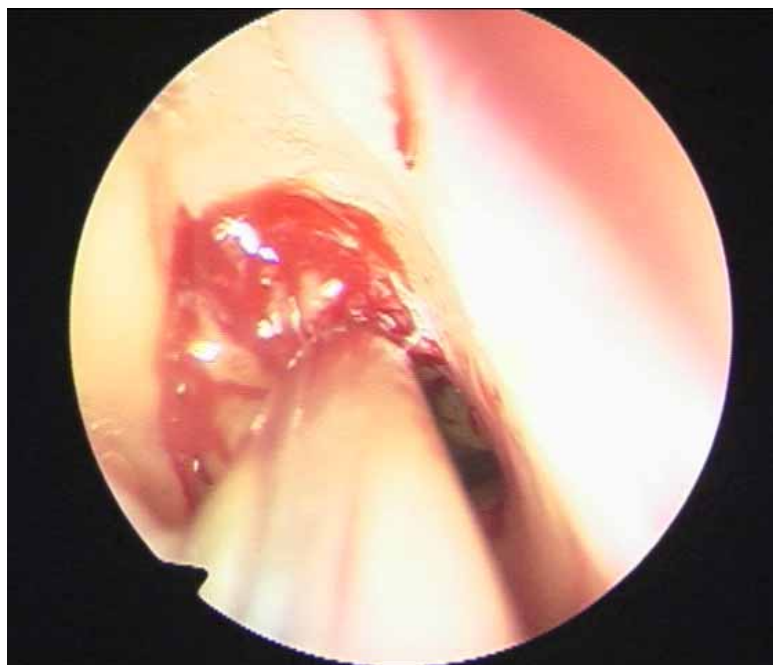


シェーバーによるアデノイド切除



上越総合病院耳鼻咽喉科
五十嵐良和

目的

内視鏡システムとシェーバーをもちいて
アデノイド切除を行ない、
視野、操作性、手術時間、出血量など
につき検討した。

症 例

症例 1 4歳 男性

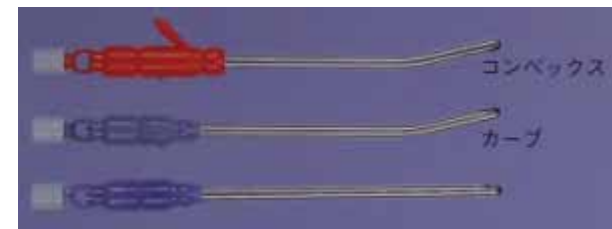
過去2回アデノイド切除術施行したが再発
頑固な滲出性中耳炎を合併している
確実な切除を目的として
シェーバーによる3回目の手術を施行

症例 2 14歳 男性

難治性の滲出性中耳炎で通院中
上咽頭をほぼ閉塞する増殖組織を認めた

使用器具

Smith and Nephew カメラシステム シェーバー



症例 1



まず鼻内より切除 次に口腔側から残存組織を切除

症例 2



ストレートと彎曲ブレードを使用

手術時間と出血量

	手術時間	出血量
4歳男性	20分	100ml 未満
14歳男性	30分	300ml

利点：手術操作、止血確認が安全確実

欠点：手術時間が長くなる

出血量が多くなる傾向あり

アデノイドに対するシェーバーの適応？

アデノイドや上咽頭腫瘍組織を
できるだけ取り残さぬよう
明視下に確実に切除したい場合

出血量と手術時間が増えることを考
慮するとルーチンに行なう手技とは
なりえない印象